

Ⅲ－3. 大学院（放送授業）

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、5%以上の回答があった項目と、その項目の大学院（オンラインを除く）の回答者全体の比率をグラフ化した。

改善点については、学部同様、比率の高い上位5項目の代表的な回答内容と、その項目の回答者全体（オンラインを除く）の比率をグラフ化した。

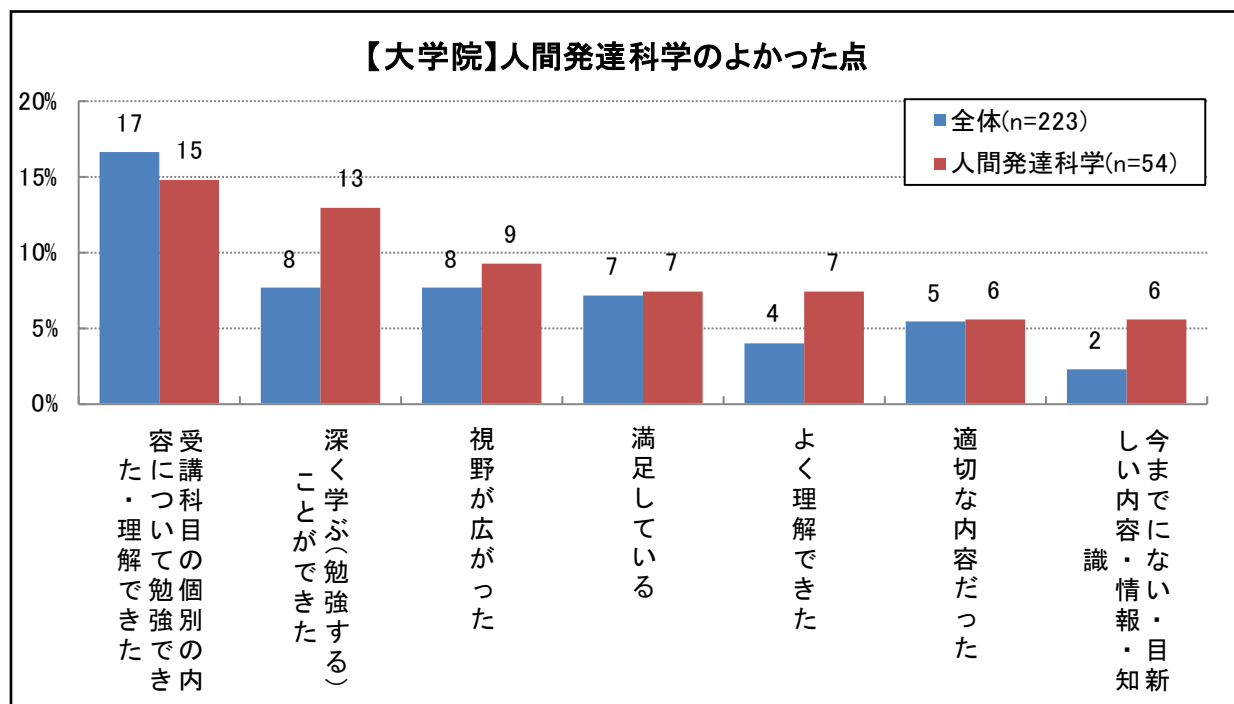
【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」が最も多く15%、次いで「深く学ぶ（勉強する）ことができた」（13%）、「視野が広がった」（9%）が上位の項目として挙げられた。

「深く学ぶ（勉強する）ことができた」は、全体との差が最も大きかった。

図 2－115 【大学院】よかった点

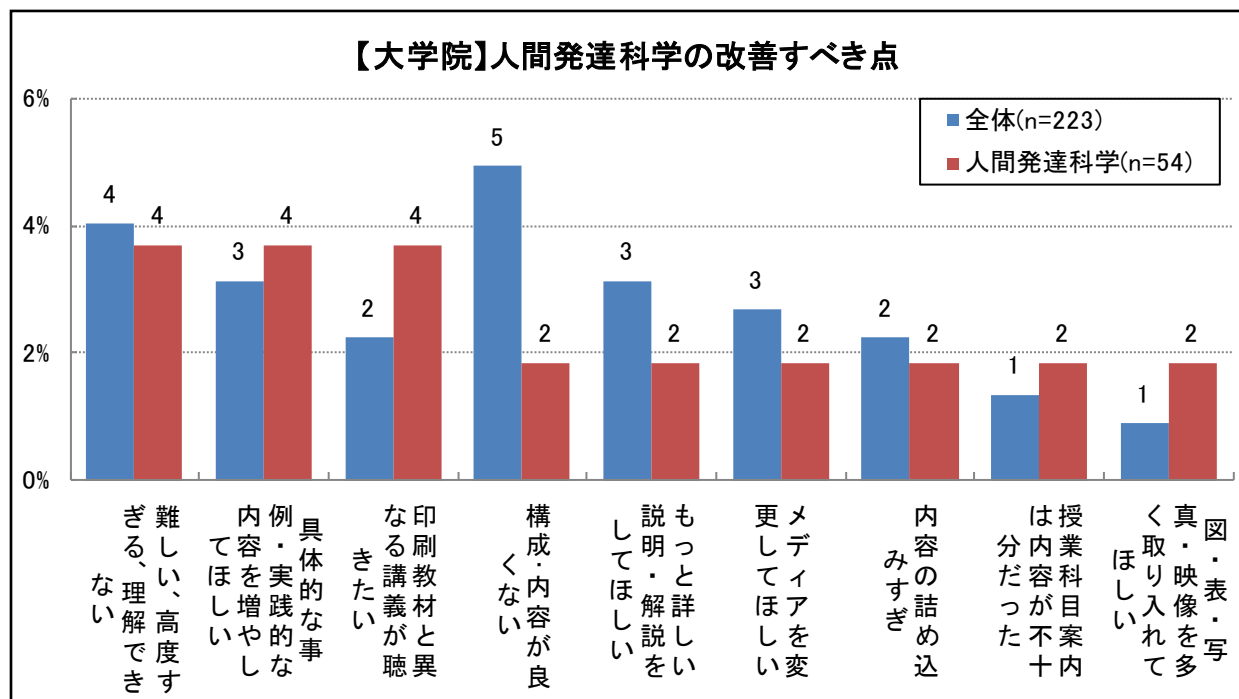


【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

最も多くても「難しい、高度すぎる、理解できない」「具体的な事例・実践的な内容を増やして欲しい」「印刷教材と異なる講義が聴きたい」がそれぞれ4%に留まり、他の項目も2%であった。

図 2 - 1 1 6 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- 学校がどのように運営されているのかを知る機会となり、また現在の運営方法や教育方法などを知ることができて良かった。
- 日本の教育制度がどのように設計され、運営されているかの全体像の理解が、学習以前より深まった。
- 教育行政の仕組みを、政治的な作用も含めて、俯瞰して理解することができた。
- 一つ一つのステップが丁寧に作られていたこと。検索の仕方など具体的であったこと。
- 教育行政の課題を全般的にバランスよく学習することができた。
- どのような経緯で現在の教育が行われているのかが広い視点から説明されていて、とても良い学びとなった。
- 道徳が教科になった経緯や、道徳をどのように子ども達の生きる力に役立てられるかを、深く考えることができた。
- この教科を学び、2017年の学習指導要領の目指す教育改革における特別の教科・道徳が果たす重要な役割を学ぶことができたことが最大の収穫であった。
- 道徳教育をいろいろな角度から検証し、それが今日的な課題と結びつき、深く学ぶことができた。
- この講座を受講して、道徳教育が人間教育の多くのことをカバーしており、「市民性教育」と遜色ないことが分かった。
- 学校教育現場とは異なる環境にいて、最近の事情が分からなかったなので、参考になった。
- 道徳教育については、今まさに変化をしたところなので、新しい考え方について講師の先生方のご意見を伺えたことは貴重な経験になった。

改善点

- 4章のアメリカの色々な教育委員会の違いや、8章や13章の予算編成過程が分かりづらかった。
- 自分自身の許容量の問題から、内容を吸収しきれなかった感が残った。
- 実際の学校現場と理想の道徳教育のギャップを埋める具体的な学習方法の提示が1時間ほど欲しいと感じた。
- 「理論と実践」の「実践」の部分については、もう少し現場の声が聞けるとより良かったかもしれない。
- 放送とテキストの違いをもう少し出しても良いように思う。基本、テキストをそのまま、映像でも話すままだったように思う。
- 放送授業で、印刷教材をそのまま読み上げることが大半であった。他の科目ではゲストを交えて印刷教材の内容を膨らませるような工夫が行われている。
- 授業内容を具体的にお願いしたい。
- 学校保健安全法などを取り入れる等、様々な法規と行政と関連しても良いと思いました。
- 科目の内容の年表があれば良いように思える。
- 可能であれば、テレビまたはオンラインで進めて頂きたかった。映像も加えることができれば、さらに理解が深まったと思う。
- 先生の授業自体はたいへん興味深い内容ではあったが、道徳教育の理念と実践という視点からすると、一部距離を感じるお話もあった。
- 図や表を少し入れると良いかと思う。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			8 8	放送授業:構成・内容が良かった			1 1
深く学ぶ(勉強する)ことができた			7 7	放送授業:分かりやすい解説			1 1
視野が広がった			5 5	放送授業:講師(陣)が良かった			1 1
満足している			4 4				
よく理解できた			4 4				
今までにない・目新しい内容(情報・知識)			3 3				
適切な内容だった			3 3				
身近に感じる内容だった			2 2				
基礎的な知識を得られた			2 2				
学習意欲・知識欲がわいた			1 1				
今後に役立つ内容			1 1				
資料・データが充実していた			1 1				

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった			1 1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
通信指導:指導内容が良かった			1 1

【大学院】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない			2 2	放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい			2 2
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい			2 2	放送授業:メディアを変更してほしい			1 1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1 1	放送授業:授業の構成・内容が良くない			1 1
構成・内容が良くない			1 1	放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい			1 1
内容の詰め込みすぎ			1 1				
授業科目案内は内容が不十分だった			1 1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:評価方法に疑問を感じる			1 1
単位認定試験:問題数が多かった、範囲が広がった			1 1

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい

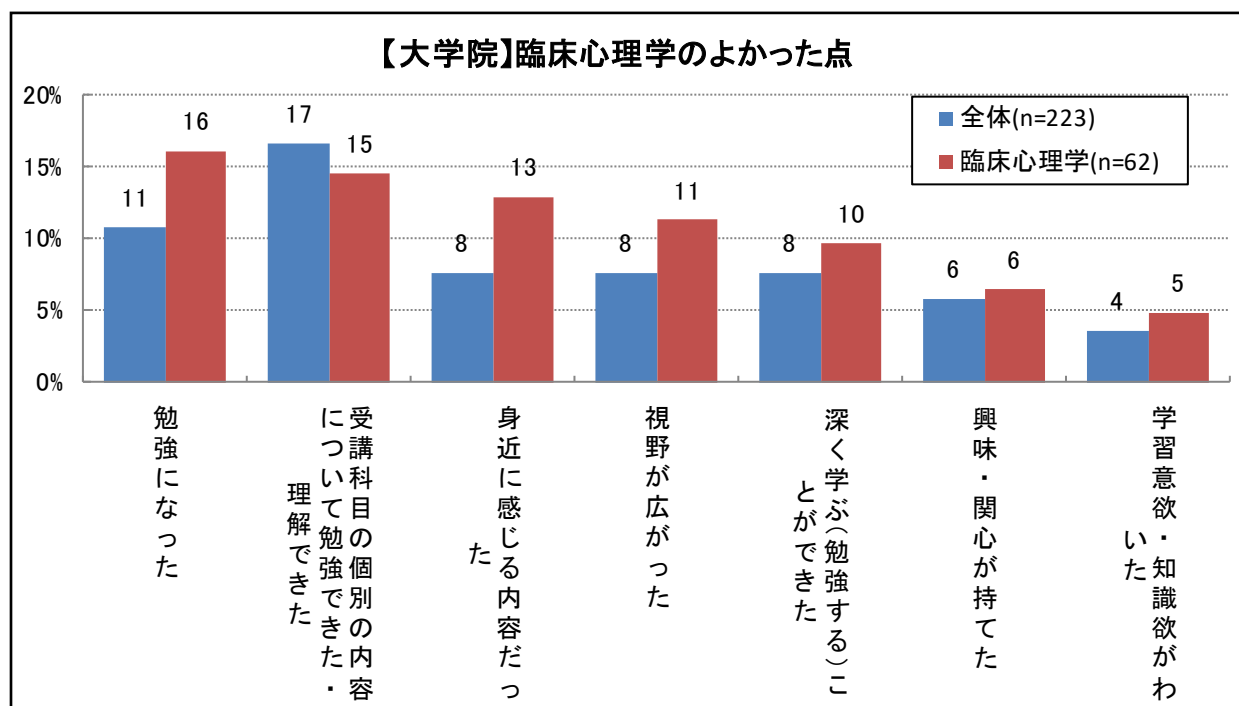
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 構成・内容が良くない
- 内容の詰め込みすぎ
- 授業科目案内は内容が不十分だった

【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかった点

「勉強になった」(16%)、「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」(15%)、「身近に感じる内容だった」(13%)など、10%以上の項目が多く挙げられ、「勉強になった」と「身近に感じる内容であった」は全体を上回っていた。

図 2 - 1 1 7 【大学院】よかった点

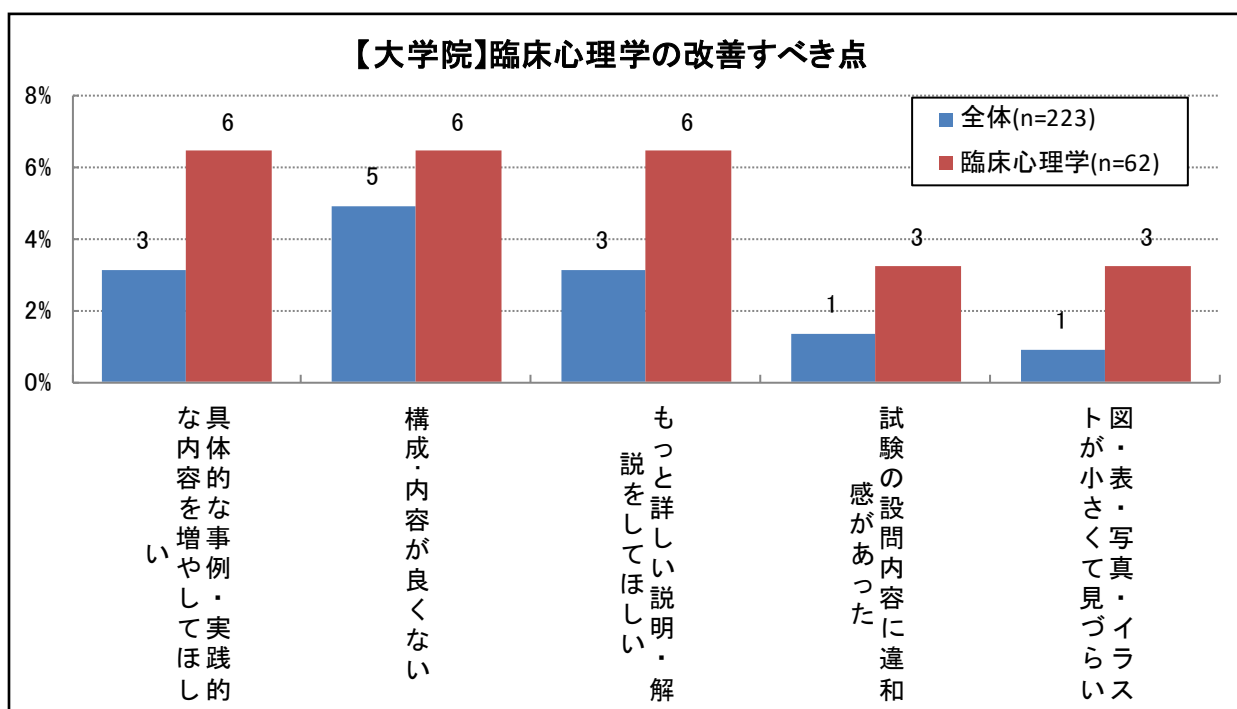


【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい」「構成・内容が良くない」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」がそれぞれ6%挙げられた。

図 2 - 1 1 8 【大学院】改善すべき点



【大学院】「臨床心理学」 抜粋

よかった点

- 心理臨床で自分にとって専門性の点で弱いところを補うことに役立った。
- 自分が知らない分野の学習ができた。
- 現代社会の青少年問題、家庭内暴力や校内暴力やいじめ、及び非行少年の特徴などを学ぶことができて良かった。家庭内紛争やネグレクトなど、その対処法律を学べる良い機会にもなった。
- 司法矯正という事で、最初はあまり身近に感じられなかった事が、受講してみて、身近に起きる事象に対して気づきや考えるきっかけとなり、自分自身で考える幅が広がったことが収穫となったと思う。
- ボランティア活動(被害者支援)での視野の広がりや知識向上につながり有意義であった。
- 自身の課題発見が多く、今後さらに参考文献などでも取り組みたいと思った。
- 司法矯正・犯罪分野の断片的な知識を統合し、理解を深めることができた。
- 一番はこの分野への興味関心が増した事。制度・法律に関する知識も増え、公認心理士の資格取得も視野に入れるまでになったほど。
- 犯罪心理についての概要を把握するのに適していた。
- 直近のデータに基づく現状分析や、最近の法改正の経緯と効果など、とても理解が深まった。
- 少年法の改正もあり、その変化や処遇の進展等を感じることができ、新しい知見で学ぶことができ、新鮮な感覚を持った。
- 矯正施設で勤務しており、仕事の関わりから大いに役立つ内容であったと思う。受講内容と現場での内容を相対的に確認することができた。
- 事例が大変役立ち、理解が深まった。
- 少年犯罪における、年齢区分や、それに伴う処遇・矯正指導などを学べたことが良かった。曖昧なままでいた部分が思っていたより多くあったので、大変良かった。
- 法律関連職として大いに役立つと同時に、自らの職域における論考提出のために基礎知識となった。
- 犯罪者に関する理論が歴史的にまとめられていた。
- さまざまなデータをもとに分かりやすく、また、内容を深く学べるよう配慮されていて、とても良かった。
- 専門的経験がよく解説されていた。

改善点

- 累犯者の心理、対応の実践研究などを、もっと詳しく知りたかった。
- 統計的な数字やグラフの読み取り方について、もう少し説明がほしいと思った。
- 資料の根拠を十分聞くことが出来ず、時間的制約でしようがないと思った。
- 犯罪者の取り扱いなど法的プロセスよりも、犯罪者の心理分析を主流とした内容の方がより興味深く学習できたと思う。
- 心理臨床における法と倫理(17)と重なる内容が多かった。
- 少年事犯や虐待等に比重がかかり、一般の行刑や高齢者犯罪事例が少なく感じた。社会や経済動向も含めての事件を見る視点も、もう少しあったら良いと思った。
- 事例をもっと紹介してもらえると、実際の支援、介入の時に役立つと思った。
- 試験問題は12章以降からも出した方が良かった気がする(ただそれによって難易度は増すだろう)。
- 裁判員制度についてはあまり記されていない、消化不良である。
- 面接の仕方など、実際にしてみないとピンと来ないので、希望者にグループワークなどの場があれば良いと思った。
- 統計資料が多く掲載されていたが、必要なものがどれか十分理解できないところがあった(試験問題に出た所が覚えるべきポイントだったのか、と確認できた)。

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
勉強になった			10	10	放送授業:理解しやすかった		1	1
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			9	9	放送授業:分かりやすい解説		1	1
身近に感じる内容だった			8	8	放送授業:講師(陣)が良かった		1	1
視野が広がった			7	7				
深く学ぶ(勉強する)ことができた			6	6				
興味・関心が持てた			4	4	印刷教材			
学習意欲・知識欲がわいた			3	3	意見	テレビ	ラジオ	合計
満足している			2	2	印刷教材:構成・内容が良かった		1	1
よく理解できた			2	2	印刷教材:理解しやすかった		1	1
今までにない・目新しい内容(情報・知識)			2	2	印刷教材:熱意が伝わる教材だった		1	1
今後に役立つ内容			2	2				
具体的な事例・実践的な内容があった			2	2				
知識の整理に役立った			1	1				
基礎的な知識を得られた			1	1				
適切な内容だった			1	1				
資料・データが充実していた			1	1				
視点、考え方が変わった			1	1				

【大学院】「臨床心理学」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			4	4	印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい		2	2
構成・内容が良くない			4	4	印刷教材:構成・内容が良くない		1	1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい			4	4	印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
期待していた内容ではなかった			1	1				
交流の場を用意してほしい			1	1				

放送授業			単位認定試験			
意見		合計	意見		合計	
放送授業:理解しにくい		1	1	単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった	2	2
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない		1	1			
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい		1	1			

主な改善点の提案:集約

- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 構成・内容が良くない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい

- 印刷教材:図・表・写真・イラストが小さくて見づらい
- 単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった
- 期待していた内容ではなかった
- 交流の場を用意してほしい

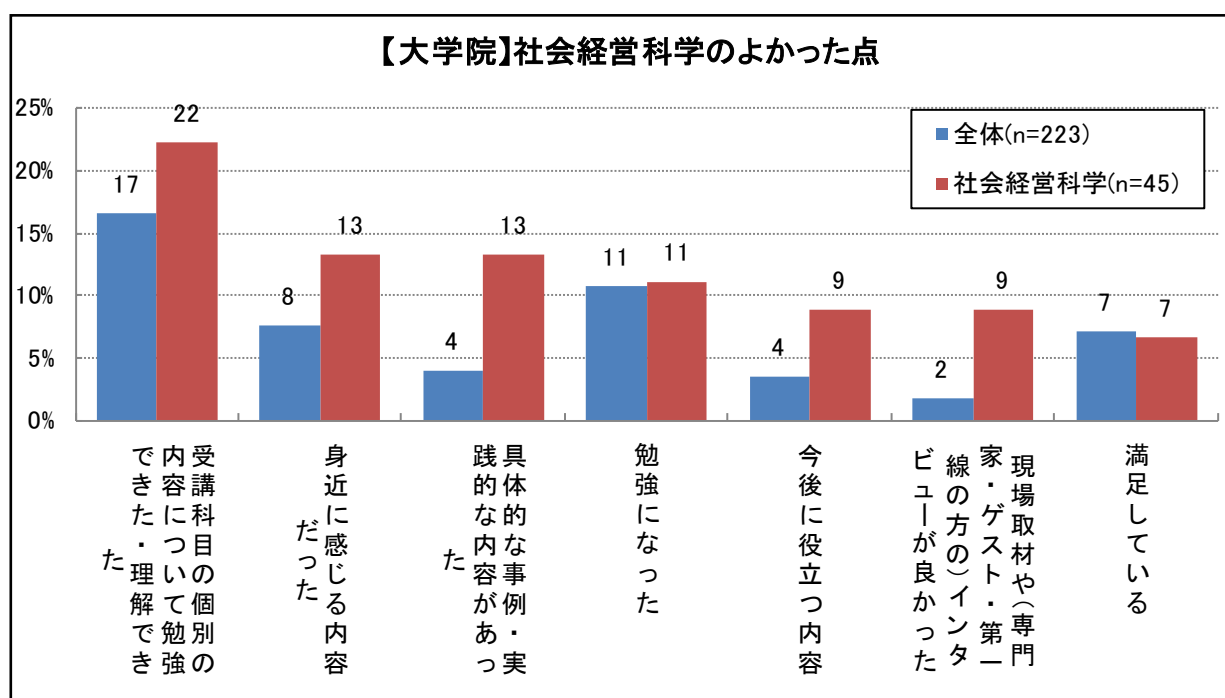
【大学院】「社会経営科学」の傾向

よかった点

「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」が最も高く 22%、次いで「身近に感じる内容だった」と「具体的な事例・実践的な内容があった」が、それぞれ 13%、「勉強になった」が、11%と続いた。

「具体的な事例・実践的な内容があった」は、全体を大きく上回り「社会経営科学」の特徴的な意見と言えよう。

図 2-119 【大学院】よかった点



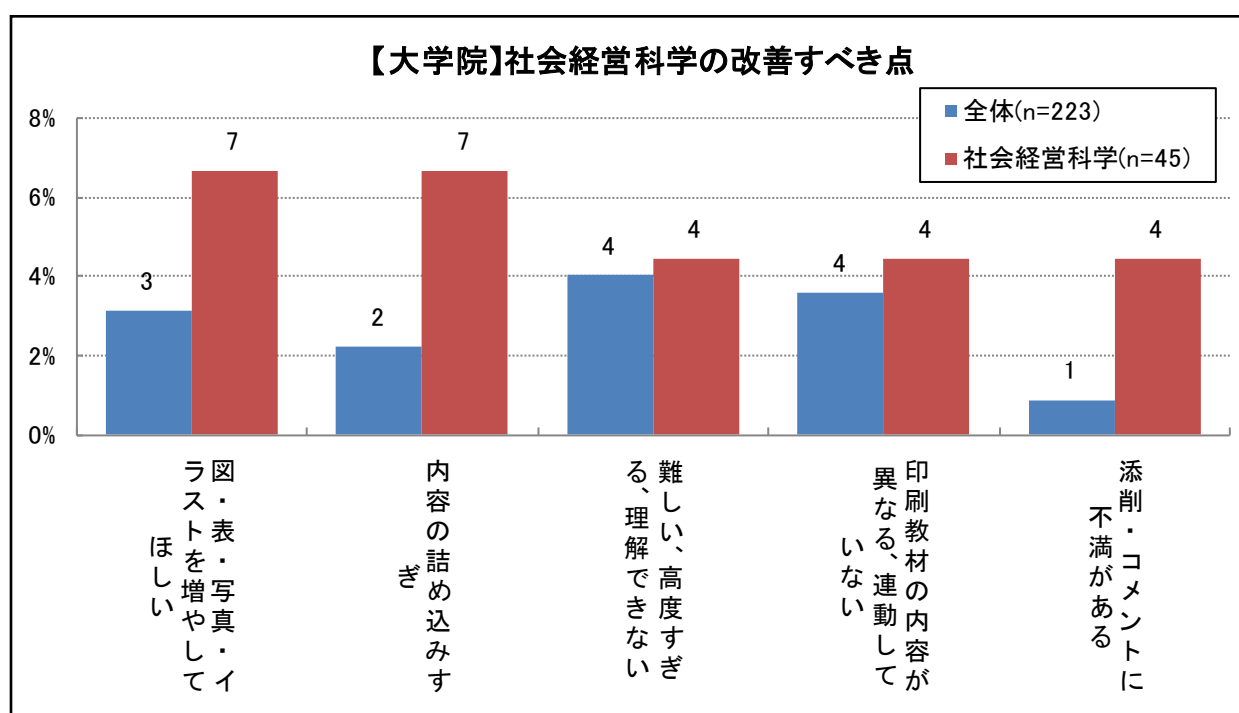
【大学院】「社会経営科学」の傾向

改善点

「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」と「内容の詰め込みすぎ」が各7%で上位に挙げられていた。

他に「難しい、高度すぎる、理解できない」などが4%で続いていた。

図 2 - 1 2 0 【大学院】改善すべき点



【大学院】「社会経営科学」 抜粋

よかった点

- 地域産業における女性の力や可能性、働きについて学ぶことができた。
- 社会を営む人たちとの協力関係をどのようにすれば上手くいくのかが明確になって、非常に満足できた。
- 今活動しているNPO法人での協力関係の問題点を解決するにはどう考えた良いかということが理解できたこと。
- 地域産業について、食農に関わる関連産業を主として念頭に置きながら、地域の様々なステークホルダーによる主体形成と地域経営のあり方について、理論と実践の両面からアプローチするという目標の通り、様々なケースが自分の身近な地域に引き寄せやすい内容だった。
- コロナ禍で旅の楽しみが味わえない中、食と農、資源について具体的な事例をもとに学びながら、地域のことを知る好奇心が少し満たされた。
- 様々な事例を取り上げて解説されており、これから地域産業に携わっていきたいと思っていたため、参考になった。
- 地域経済の問題は、私達地方に生きている者としては関心が常にあるもの。そのことについて理解できたことは大変良かった。
- 人々の社会活動を研究するにあたり、重要な示唆を含む講義内容であったこと。この講義により、同時に受講していた、人的資源管理の理解も促進されたこと。
- 協力ということについて学問をすることができた、という時間が大変有意義だった。印刷教材の内容を自分の文脈に加え、少しずつでも良い方向へ全体が進めるように、自分にできることをしていきたいと思う。
- 日常生活に結びつく内容があり、今後の人生の知識向上の糧になった。
- 各回にインタビューの手法が用いられ、内容理解の助けとなった。
- 大手のよく知られた企業や、理解されている仕事だけでなく、実は地道に活動されている人や団体の事例を頻繁に参照し、インタビューを交えて社会との関係について学べたこと。
- 地域研究について、いろいろな事例を紹介していただき、面白い授業だった。受講して良かった。
- 興味深い内容で、新たな知識や考え方を得ることができた。
- 社会協力の在り方を理論面からアプローチした点。さらに理論を実際の事例と照らし合わせ、より具体的な内容理解を進めようとしたことが良かったと思う。
- 通信指導も、冊子の分厚さに驚いたが、印刷教材と関連した読み応えのある一次資料に触れることができて、結果として非常に良かった。
- 今まで意識しなかった社会の協力活動が系統立てて説明され、ある程度理解できたと感じている。
- 協力ということについて、新たな観点から整理することができた。
- 今年4月から新しく科目履修生となったこと、自身が大学を中退したまま科目履修生となったことから、大学院での勉強に対して高をくくって油断していた面があったが、この科目の単位認定試験を受験することで、そんな自分の考えが甘かったことが思い知らされた。大学院での勉強が生半可なものではない、と感じさせてくれた良い科目だと思う。
- 通信指導でポイントが分かりやすく、しかも厳しく評価していただき、感謝します。今後、卒業論文に挑戦する時の参考になった。

改善点

- 大学院科目であり仕方がないのかもしれないが、放送教材がラジオだけでは、印刷教材と何ら変わらない。教養科目に似た科目の映像があるならまだしも、印刷科目の写真、グラフなども少なく、活動の実態がひと目で理解しやすい写真などビジュアルの充実をもっと考えてほしい。
- そもそも科目タイトルである「社会的協力」が何を指しているのか、理解できなかった。
- 放送授業が実例で、印刷授業が理論という構成だったが、その連関についてもう少し解説が聞きたかった。
- 放送授業と印刷教材の流れが異なっており、印刷教材のどこを講義されているのか分からなくなる局面が多々あった。最初の数回でこの方式に慣れ、講義に取り組む姿勢を変えて対応することとなった。
- 通信指導において、質問の狙いがはっきりせず、論文指導の手法をもとに、印刷教材からの引用を最小限に控えたところ、「授業の理解度が判定できない」と低評価を頂戴した。これは質問の仕方が悪いとしか言いようがない。
- 通信指導で論文回答に対する添削指導を受けたが、「てにをは」の表記に過度にこだわる指導がそのほとんどを占め、それも枝葉末節な指摘にちょっと疑問を感じた。しかもそのことで減点をしたとの指導があり、腑に落ちないものだった。具体的には、「ですます調」を「である調」に変更しろとか、「○○・・・問題」という長文の固有名詞を「同問題」と略して文字数を稼いだことに対して、「そういう省略はしないように」との指導だった。こういう指摘はいかがなものか。「ですます調」の論文は学会では不可なのだろうか？「長い固有名詞」の一部を「同」と略すことは不可なのか？それらは減点の対象になるようなことなのか？それよりも、論文の中身に対する評価や指導をきちんとして頂きたかった。
- 各専門家のインタビューが長く、科目テーマとの関連性を理解するまでに興味が薄れてしまうことがあった。
- 例えば「埋め込み」など、説明される用語の定義が曖昧と感ずることがあった。
- これは仕方ないことだが、授業配信が新型コロナによる休業要請期間だったため、紹介されている団体の活動に大きな影響が出ていると思うと、現在は当てはまらない過去の事例になってしまった。
- はっきりしたエビデンスもないのに、こうであると導くのはどうかと思った。先生の思いだけが強くて、どう読みといても納得しかねる点があった。
- 問題文を「引用しながら記せ」などとするか、記述式の設問を改めるか、改善の余地があると思われる。

【大学院】「社会経営科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			10	10	放送授業:現場取材や(専門家・ゲスト・第一線の方の)インタビューが良かった		4	4
身近に感じる内容だった			6	6	放送授業:分かりやすい解説		2	2
具体的な事例・実践的な内容があった			6	6	放送授業:講師(陣)が良かった		1	1
勉強になった			5	5				
今後に役立つ内容			4	4				
満足している			3	3				
学ぶことの楽しさを知った			2	2				
興味・関心が持てた			2	2				
適切な内容だった			2	2				
引用・参考文献、補助教材、問題集の紹介が良かった			2	2				
よく理解できた			1	1				
視野が広がった			1	1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1	1				
知識の整理に役立った			1	1				
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役立った			1	1				
深く学ぶ(勉強する)ことができた			1	1				
視点、考え方が変わった			1	1				

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
印刷教材:理解しやすかった			1	1
印刷教材:様々な事例・具体的な事例が良かった			1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
通信指導:理解しやすかった			1	1

【大学院】「社会経営科学」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
内容の詰め込みすぎ			3	3	印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい		3	3
難しい、高度すぎる、理解できない			2	2	印刷教材:理解しにくい		1	1
興味・意欲がわかなかった			1	1				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1	1				
構成:内容が良くない			1	1				
内容にまとまりがない			1	1				
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい			1	1				
授業科目案内は内容が不十分だった			1	1				

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
通信指導:添削・コメントに不満がある			2	2
通信指導:指導内容、対応に不満がある			1	1

放送授業				単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない			2	2	単位認定試験:試験の設問内容に違和感があった		1	1
放送授業:メディアを変更してほしい			1	1	単位認定試験:難しすぎる、難易度を下げるべき		1	1
放送授業:視聴手段を増やしてほしい(ネット配信・D VD・ビデオ等)			1	1	単位認定試験:試験の解答方法を変更・改善してほしい		1	1
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった			1	1				

主な改善点の提案:集約

- 内容の詰め込みすぎ
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 難しい、高度すぎる、理解できない

- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 通信指導:添削・コメントに不満がある
- 興味・意欲がわかなかった
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

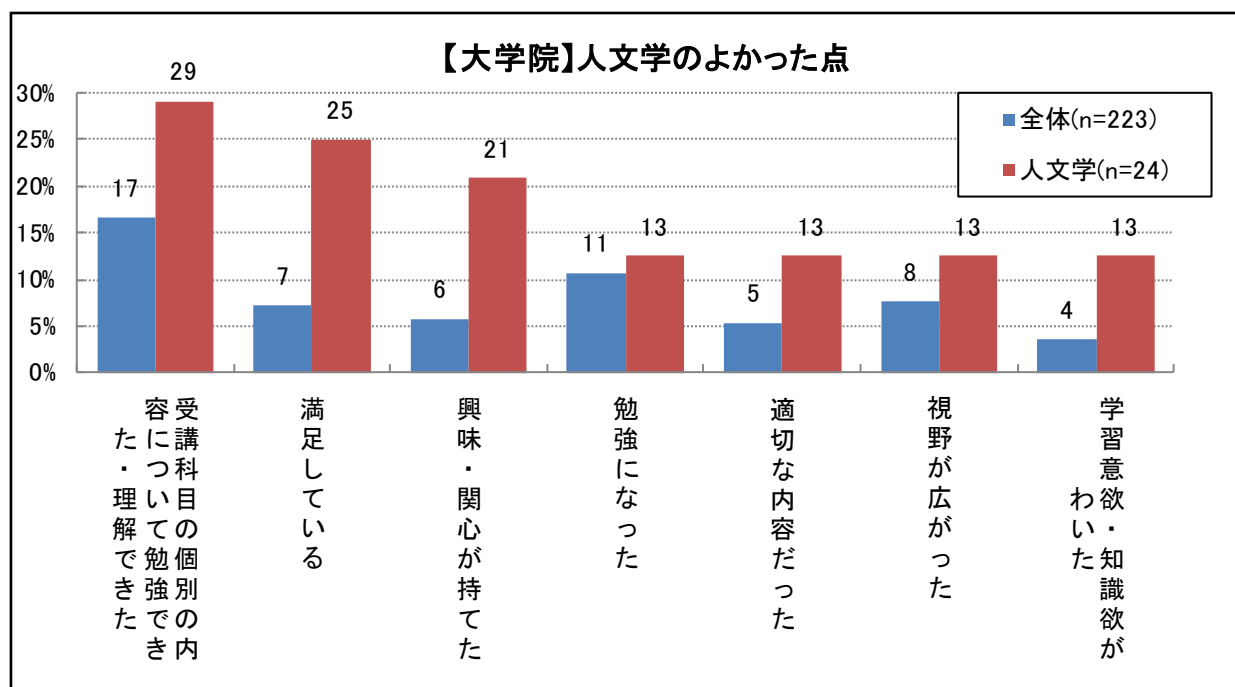
【大学院】「人文学」の傾向

よかった点

「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」が最も多く 29%、次いで「満足している」が 25%、「興味・関心が持てた」が 21%と、2 割以上が 3 項目で、他に「勉強になった」など、1 割を超える項目も多く挙げられていた。

「満足している」と「興味・関心が持てた」は、全体と比べ 3 倍以上の比率で、「人文学」の特徴を現していると言えよう。

図 2 - 1 2 1 【大学院】よかった点

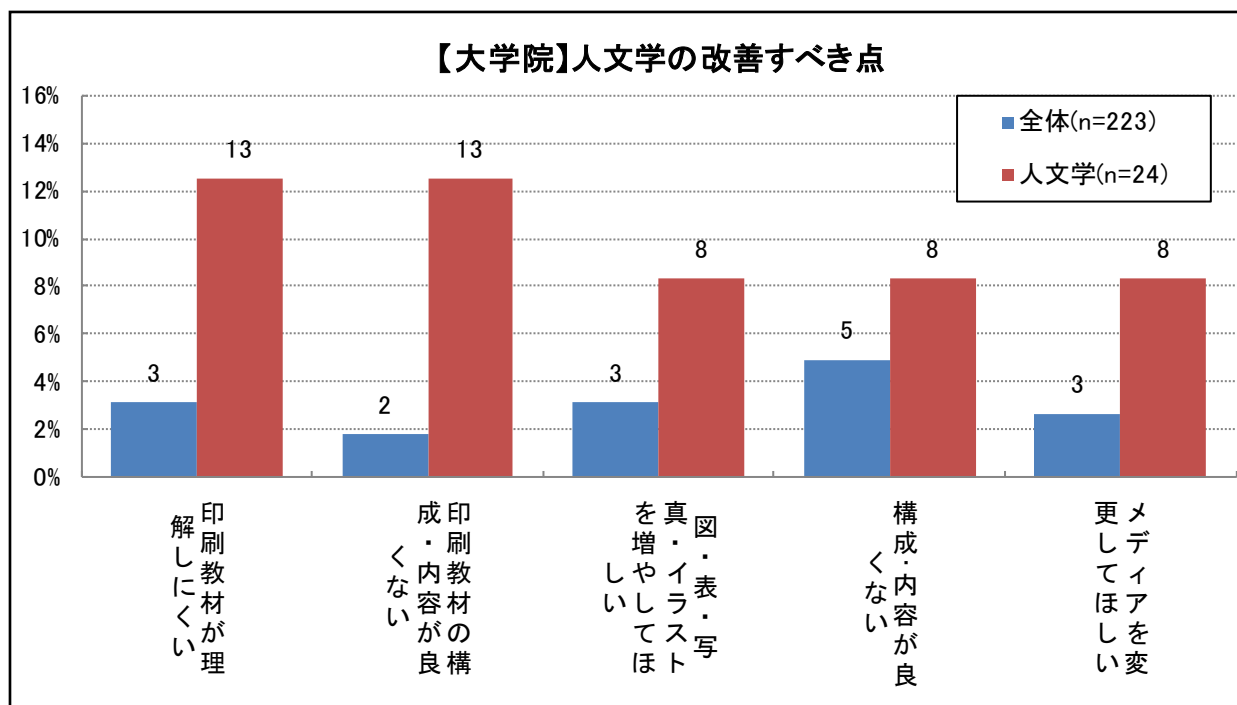


【大学院】「人文学」の傾向

改善点

「印刷教材が理解しにくい」と「印刷教材の構成・内容が良くない」が13%と、「印刷教材」に対する改善点が多くから挙げられ、共に全体を大きく上回っている事から「人文学」を代表する特徴的な意見と言えよう。

図 2 - 1 2 2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人文学」 抜粋

よかった点

- 現代の日本と朝鮮(南北)との摩擦において、その歴史的背景をあまり知らなかったため、それがある程度解消できた。
- 明治期の韓国併合、清国の動き等、詳細に勉強できた。そして、現在における日韓両国の歴史認識の差異と韓国の人々が奥底に持っているアイデンティティの一端を垣間見ることができた。
- 朝鮮史は、なじみが薄い。そこを集中的に勉強する契機となったことは良かったと思う。
- 近代朝鮮史を勉強できて良かった。
- 他の歴史書には無いことが多く、興味深い内容だった。
- 中国社会の歴史的な変遷は、これまでも様々な書物や機会を通じて私自身それなりに把握して来たと思うが、朝鮮半島の歴史的な流れをしっかりと認識してこなかったことが、今回の講義によってある程度満たされたと感じる。
- 朝鮮近世史、近代史はもともと関心ある。一層関心を持てるようになり、今後も勉強したいと考えている。
- 日本の古代史を学ぶ上で、朝鮮の古代についての視野が広まって良かった。
- 関心を持っている韓国について、古代から現代まで体系的に学ぶことが出来て満足している。
- 予想していたより内容が非常に濃い。
- 今後の日韓の関係の在り方を考える上で参考になった。
- 内容は高度で、朝鮮史に出る漢字も丁寧にたくさん記載していて、覚えやすい。
- 過去の教材もそうだが、この授業についても、授業終了後も繰り返し読む必要があると感じている。今回の教材は註の部分も非常に充実していて、興味をかきたて、疑問に答えてくれるすばらしい内容であった。
- 質問に対しても丁寧な回答で、先生方の人柄を窺い知ることができる。

- 印刷教材での制限字数があったのではと感じる。できればもっと厚くして、もしくは分冊にして1冊、2冊としたら、内容の詳細がまだあった気がする。
- 明確に項目建てをして、教材の内容を整理すべきだと感じる。どこにどういう説明があるのか、曖昧模糊に教材の記述が展開し、全体を読み通さないとそれぞれの内容がよく分からないという感があり、受講者は相当に苦勞していると思う。
- テキストは(大学院レベルだからこういうものなのかもしれないが)、常用されていない単語あるいは韓国語をそのまま漢字にした単語を用いており、難読漢字が多かった(覇縻、秉権、均霑、親行等)。
- 朱子学、仏教、キリスト教などの、「朝鮮における宗教」の記述があれば良かった。
- 歴史の変換期を詳しく勉強したかった。例えば、朝鮮王朝の廃絶等。
- テレビ授業にすべきと思った。または現代の時勢を考えるとオンライン学習を増やすべきと考える。
- もう少し文章の資料だけでなく、視覚的な資料が加われば良かった。
- 私の勉強不足であるが、かなり細かくて少ししんどかった。
- 実質的には15回では収まりきれないほどの豊富な内容が凝縮されていたと思う。もっとさらに詳しく学習したいと思った。つまり時間が足りない、と感じた。
- 本来であれば受講生自らがすべきだが、朝鮮の歴史に関する年表を付表として添付されていれば、政治・経済・社会の変動を体系的に理解する上で役に立ったのではないかと思料される。
- 自分でやれば良いことであるが、時々まとめのようなページがあるとありがたい。
- 田柴科法や科田法を学ぶということを案内に書いてほしかった。
- できればディスカッションとかゼミで取り上げていただきたい。
- 第14回と第15回について、せっかく3人の先生方が出演されたのだから、もっと、お互いの会話があるとさらに良いと思った。
- 朝鮮人の人名や地名が、印刷教材では原語になっていたが、放送では日本読みであったため、分かりにくかった。どちらかに統一してもらいたい。
- 印刷教材中心のラジオ授業であることを考えれば、例えば、宮嶋博史氏の「世界の歴史12巻」のようなカラー写真もないし、面白いエピソードも少ない。著者の責任ではないことは十分に理解できるが、かなり朝鮮史に関心を有していないと親しめない面もある。朝鮮史に関心を有する人間は世間に少ない。一人で理解者を増やしていくという観点からは、一工夫あっても良いと思う。私は、朝鮮史に大きな関心を有しているが、例外的だろう。
- 3ヶ月半という短期間で理解するには教材の情報量が多すぎるように感じた。
- 後半終わりに近づくほど、誤字や印刷ミスが目につく。理解に影響するほどでは無いが、急いで校正不足を示した感じ。

【大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			7	7	放送授業:講師の熱意・熱心さが伝わった		1	1
満足している			6	6				
興味・関心が持てた			5	5				
勉強になった			3	3				
学習意欲・知識欲がわいた			3	3				
視野が広がった			3	3				
適切な内容だった			3	3				
学ぶことの楽しさを知った			1	1				
よく理解できた			1	1				
自分の意見・考えを持てるようになった			1	1				
知識の整理に役立った			1	1				
専門的な内容だった			1	1				
深く学ぶ(勉強する)ことができた			1	1				

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
印刷教材:構成・内容が良かった			1	1
印刷教材:読み物として面白い内容だった			1	1
印刷教材:手元に置き、今後も読みたい内容だった			1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
通信指導:指導内容が良かった			1	1

【大学院】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般				印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
構成・内容が良くない			2	2	印刷教材:構成・内容が良くない		3	3
難しい、高度すぎる、理解できない			1	1	印刷教材:理解しにくい		3	3
内容の詰め込みすぎ			1	1	印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
引用・参考文献、補助教材、問題集を紹介・発刊してほしい			1	1	印刷教材:あまり良い教材ではなかった		1	1
(各章ごとに)まとめや学習ポイント、総括がほしい			1	1	印刷教材:内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
授業科目案内は内容が不十分だった			1	1	印刷教材:誤植がある		1	1
交流の場を用意してほしい			1	1				

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
放送授業:メディアを変更してほしい			2	2
放送授業:講師の熱意が伝わらない			1	1
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない			1	1

主な改善点の提案:集約

- 印刷教材:構成・内容が良くない
- 印刷教材:理解しにくい
- 構成・内容が良くない

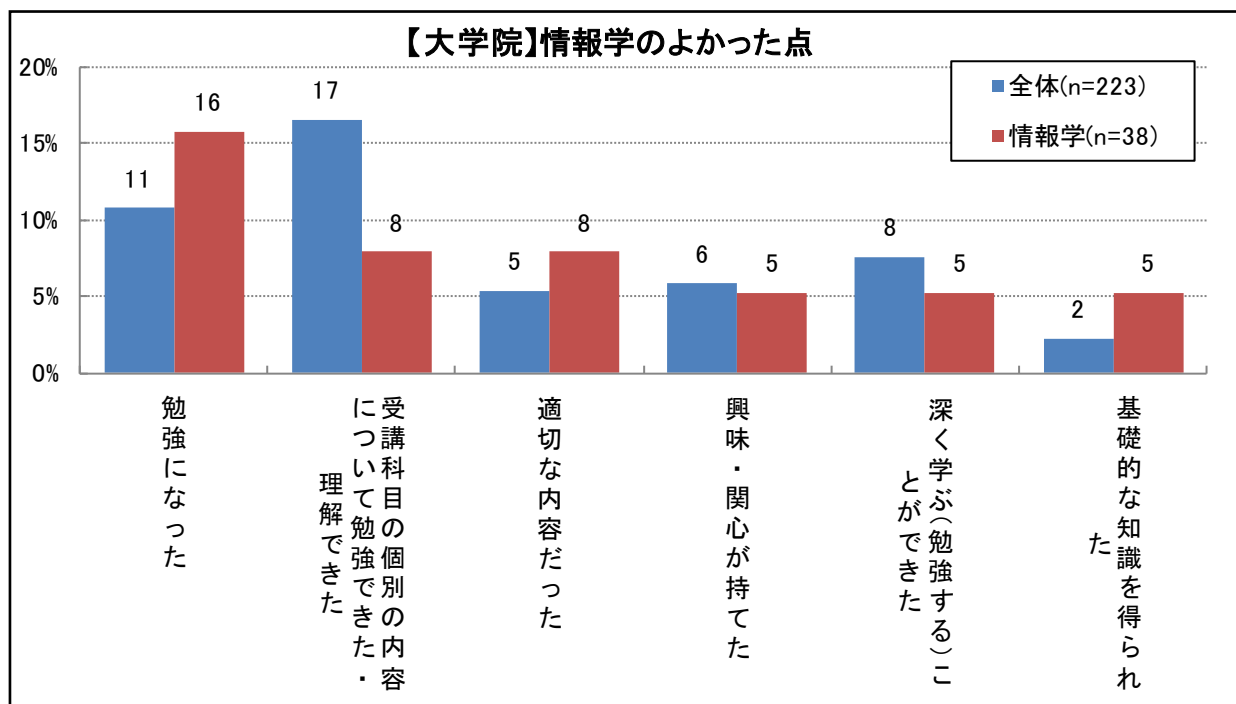
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 内容の詰め込みすぎ

【大学院】「情報学」の傾向

よかった点

「勉強になった」が最も高く 16%、次いで「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」「適切な内容だった」がそれぞれ 8%で続いていた。

図 2 - 1 2 3 【大学院】よかった点



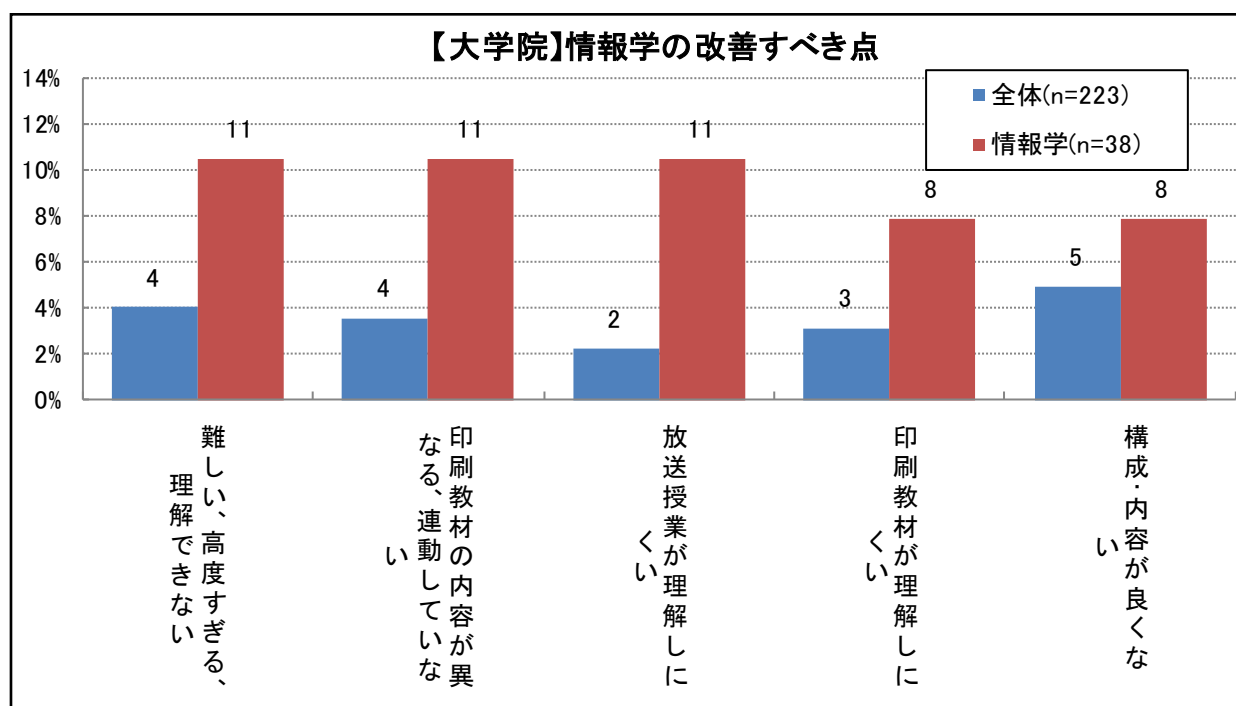
【大学院】「情報学」の傾向

改善点

上位に挙げられていたのは、「難しい、高度すぎる、理解できない」「印刷教材の内容が異なる、連動していない」「放送授業が理解しにくい」で、それぞれ11%であった。

「放送授業が理解しにくい」は全体を5倍以上上回り、「情報学」の代表的で特徴的な改善点と言えよう。

図 2-124 【大学院】改善すべき点



【大学院】「情報学」 抜粋

よかった点

- 新しい知的財産権の知識が増えた。
- 知的財産に関する制度（法律）を、産業財産権に限らず、幅広く学習できた。
- 知的財産に関わる法律の関連の理解が深まった。
- 自然言語処理など、普段私たちが何気なく使っている技術を支えている理論について学べた点。
- 章ごとにテーマが分かれていて、分かりやすかった。
- 講義の構成は、各章ごとのつながりを自分なりに考えることができるように工夫されていて、なるほどと感じることが多かった。
- 純粋に本領域への関心が高まった。
- インターネット時代に知っておくべき「知財制度」について、まずは基本を押さえることが出来て良かった。
- 知財制度についての理解が深まった。
- 仕事上、特許関係を扱う部署に異動になり困っていたので、今回の講義は知財精度の知識や理解が多少なりとも深まり、良い機会となった。
- マルチメディアについて、受講前と受講後では大きく認識が変わった。受講して良かったと思っている。
- 情報処理をマルチメディアという観点から俯瞰することができたという意味で有意義だった。
- 学生時代に得た知識を、再度復習ができて良かった。
- 現在のマルチメディア情報処理技術の実例を横断的に学べた点は良かった。
- 自分が疑問に思うところがあったが、テキスト・授業により、理解ができた。

- 基礎知識を習得した上で学習すべきだったかもしれない。
- ポイントをしぼり、分かりやすく講義して欲しかった。
- 講義内容をアップデートしたためだと思うが、印刷教材にない内容が講義に含まれていて、時々、付いていけなくなる時があった。
- データ処理方法の要約は記載されているが、情報処理の目的に対し、なぜその処理が最適か、他の方法に対して何が優れているか等の情報を教えて頂きたかった。
- 全体として教材の文書が分かりづらく、正直教材を読むのが苦痛であった。私にとっては、苦手な科目の教材の方がはるかに理解しやすかった。そういう意味で、印刷教材は改めて見直すべきである。
- 放送教材がラジオということで理解が困難な点があった。マルチメディア情報処理ということで、少なくともテレビ、できれば、オンラインが良いのではと考える。
- 教材と同じ言葉で話をされており、解説となっていない。
- マルチメディアに関するものだけに、映像系の教材も活用されるとさらに興味深いものになると思う。
- 言葉（文章）での説明ばかりで、図式化や一覧表にするなど、理解度を上げるような工夫をお願いしたい。
- 単位認定試験の問題は簡単すぎた。
- 専門用語をいくつも織り交ぜながら、それらの意味を説明しないので、置いてきぼりになりがち。何度も聞き返しながら進んだが、それでも完全に講義内容を理解できたかは分からない。
- 「マルチメディア情報処理」という観点では、8 三次元データ処理 (CAD/CAM)、14 ディープラーニング (AI) はもっと内容を豊かにするべきと思われる。
- 説明に具体性を欠くので、理解に苦しむことが多かった。
- 放送授業の話す内容が多すぎるので、専門的になりすぎ。
- 放送授業は、少し間延びしたような、冗長な説明が多かったように感じた。
- 音声を中心にしたラジオでの講義。一文は出来るだけ短く、主語と述語は近くに配置されている方が耳に入りやすいと言われている。しかし、この講義においては、講師が自らの言葉で語るのではなく「手元の文字を読み上げていく」スタイルが中心だった。
- マルチメディアに関するものだけに、映像系の教材も活用されるとさらに興味深いものになると思う。
- 印刷教材は、急いで作ったのかと思うような代物である。次の受講者のためには、新たに作り直しが必要と考える。例えば気になるところの法律をチェックすると、教材と法の解釈に違いがあった。また、放送では図があると言っているが、印刷教材にはその図がない。本当に教材の信頼度が低い。
- ラジオということであれば、印刷教材の内容も増やした方が良いと考える。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった			6 6
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた			3 3
適切な内容だった			3 3
興味・関心が持てた			2 2
基礎的な知識を得られた			2 2
深く学ぶ(勉強する)ことができた			2 2
満足している			1 1
よく理解できた			1 1
学習意欲・知識欲がわいた			1 1
視野が広がった			1 1
身近に感じる内容だった			1 1
今後役に立つ内容			1 1
知識の整理に役立った			1 1
具体的な事例・実践的な内容があった			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:理解しやすかった			1 1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しやすかった			1 1

【大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない			4 4
構成・内容が良くない			3 3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1 1
内容が浅い			1 1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい			1 1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材:理解しにくい			3 3
印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい			2 2
印刷教材:あまり良い教材ではなかった			1 1
印刷教材:内容が薄い・少なすぎる			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業:理解しにくい			4 4
放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない			4 4
放送授業:メディアを変更してほしい			2 2
放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい			2 2
放送授業:授業の構成・内容が良くない			1 1
放送授業:講義のテンポが良くない(早い・遅い)			1 1
放送授業:講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい			1 1
放送授業:講師の解説、指導が良くなかった			1 1
放送授業:講師の熱意が伝わらない			1 1
放送授業:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい			1 1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験:簡単すぎる、難易度を上げるべき			2 2

主な改善点の提案:集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 放送授業:理解しにくい
- 放送授業:印刷教材の内容が異なる、連動していない
- 構成・内容が良くない
- 印刷教材:理解しにくい
- 放送授業:メディアを変更してほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聴きたい

Ⅲ-4. 大学院（オンライン授業）

大学院のオンライン授業については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、5%以上の回答があった項目と、その項目の大学院（オンライン）の回答者全体の比率をグラフ化した。

改善点については学部、大学院（放送授業）同様、比率の高い上位5項目の代表的な回答内容と、その項目の回答者全体（大学院オンライン）の比率をグラフ化した。

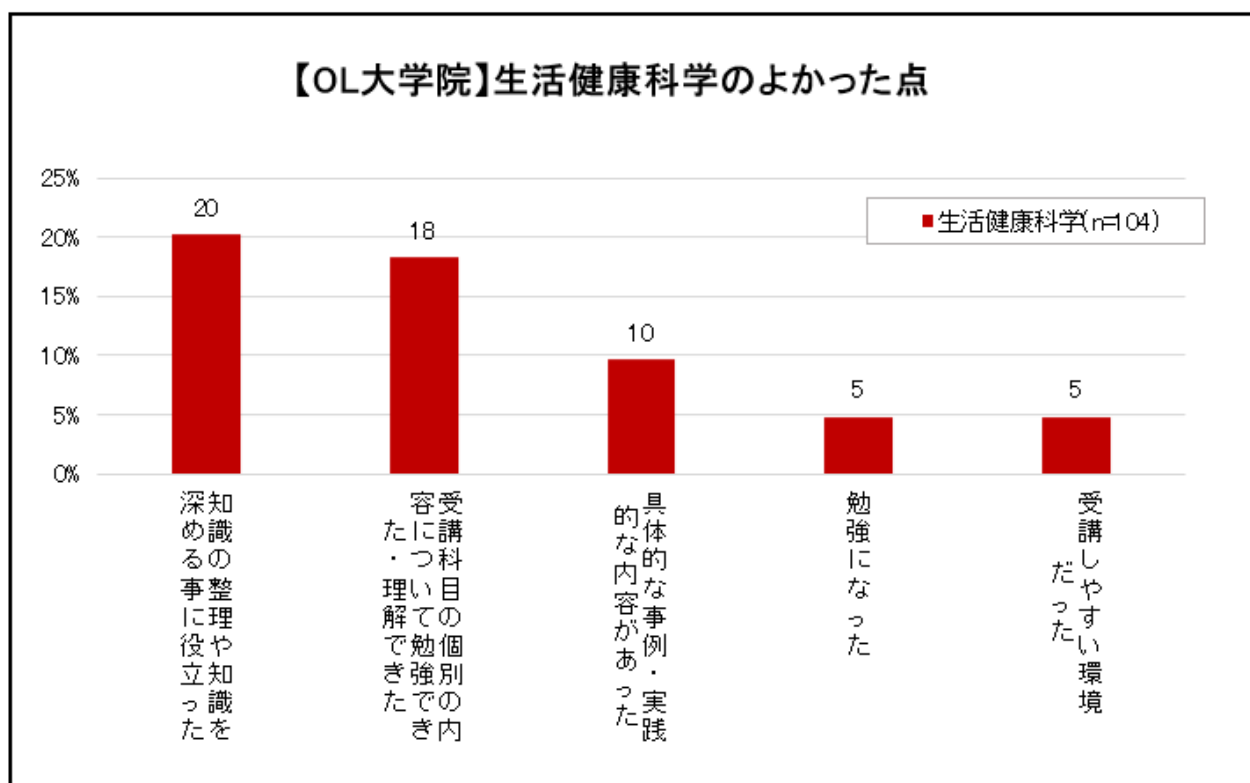
なお、今回調査対象となった3つのプログラムのうち、生活健康科学プログラムについては、後日あらためて分析を行い追加したものである。他のプログラムと分析基準が異なるおそれがあることから、大学院（オンライン）全体の集計には含めず、単体で分析することとした。

【オンライン 大学院】「生活健康科学」の傾向

よかった点

「知識の整理や知識を深める事に役立った」が20%と高く、次いで「受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた」が18%、他に「具体的な事例・実践的な内容があった」（10%）などが続いていた。

図2-125 【オンライン 大学院】よかった点

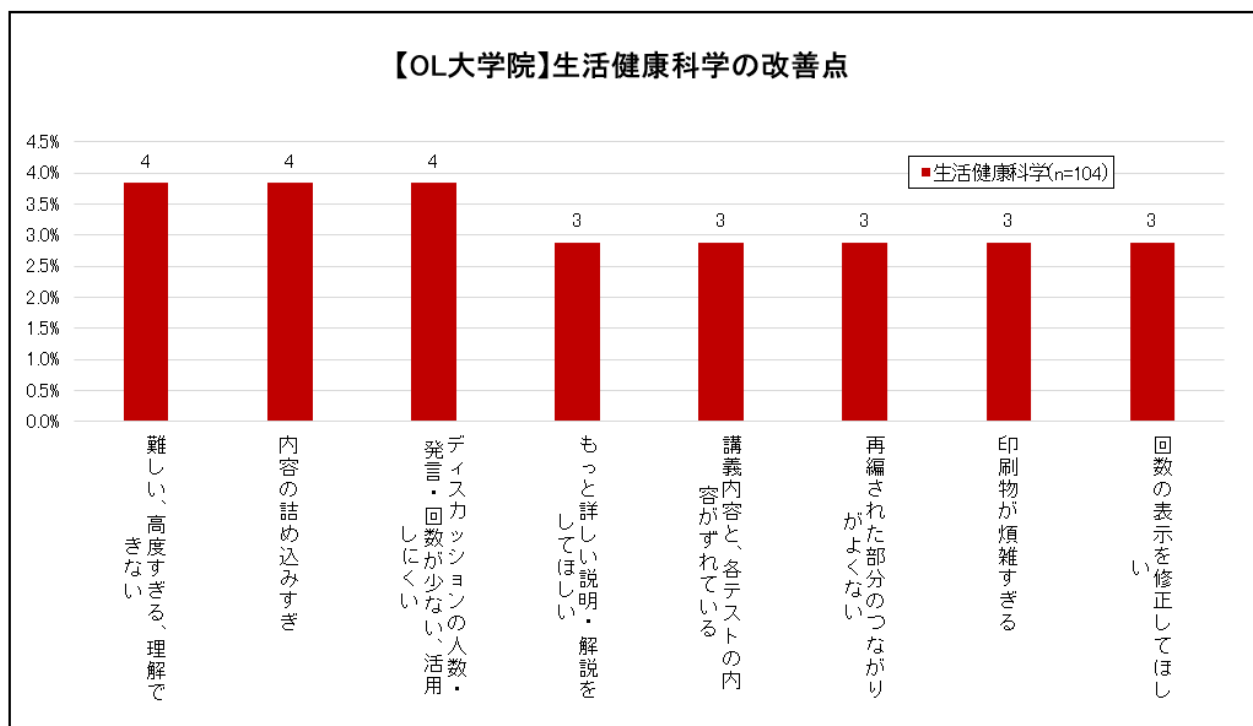


【オンライン 大学院】「生活健康科学」の傾向

改善点

「難しい、高度すぎる、理解できない」「内容の詰め込みすぎ」「ディスカッションの人数・発言・回数が少ない、活用しにくい」が上位に挙がっていた。

図 2 - 1 2 6 【オンライン 大学院】改善点



【オンライン 大学院】「生活健康科学」抜粋

よかった点

- 特定行為研修で必要な科目であったため受講を申し込んだのが動機であったが、受講してみて、とても勉強になった。日々の仕事でも取り組んで行こうと思う点がたくさんあってとても勉強になった。
- 実際手順書を作成してみて何となく方針や見通しが立った。また、第4回のレポート作成に際し、指導者や上司、専門医とも話す機会が持てたので、今後の方針も相談できてよかった。
- 特定行為そのものや医療安全に限らず、特定行為を実践する看護師に期待される役割と機能を発揮するために必要な基盤を知ることができて良かった。大学や臨床実践では学ぶ機会がない（そもそも教えられる人材がいない）ことを系統的に学べ、特定行為ではなく今のポジションでの実践にも活かされそうな知識のブラッシュアップにつながったことは、本講義を履修してよかったと強く感じる。
- ディスカッションを通じて、他受講生の考え方を学ぶことができて参考になった。
- 病態生理の全体的な理解ができ、疾患も改めて理解することができた。
- 臨床での場面を想起させる内容が多く、理解しやすかった。
- 解剖生理から学び直すことができ、振り返ることでの新たな学びも多かったです。授業が分かりやすく、楽しく学べました。
- 知っている知識の再確認、知らなかった知識を得ることができた。
- 临床上、解剖生理学を理解して行っているつもりだったが知識が不足しているとオンライン授業で再度確認ができ、たくさんの学びを得ることができてよかった。
- 看護学生以来の総復習になり、改めて勉強になりました。
- 病態生理は病気と、解剖が理解できてないとわからないため基礎であるが重要性を再認識できた
- 臨床で専門的に活動していると、改めて他分野の知識不足を感じ、再学習するきっかけとなりました。
- 複雑な体の仕組みを学ぶことができた。ポイントを得た、疾患と治療の理解に結びついた。

改善点

- 講義の再編により、選ばれた講義となっているようであるが、内容が飛んでいるような印象の講義となっているため、理解できない・つながらないと思う部分があった。
- スライド資料を印刷して見ていたのでワークシートの活用方法がわかりませんでした。
- やはり手順書などは今まで触れたこともないため、講師からのコメントが直接貰えると良かったなと感じた。
- 2つの科目を一つにしたということで、各回のつながりがなく唐突感があり、ぎくしゃくした流れで繋がっておりスムーズに理解できなかった。
- レポート、ディスカッションの課題について受講生によって回答方法があり、課題の出し方の見直しを行なってほしい。
- 印刷物が多く整理する点が大変だった。(印刷順を変えてしまったら順番が分からなくなってしまった)
- 科目の構成が再編成されていたためか複雑でした。特にプリントアウトしてまとめるのがわかりづらかったです。ディスカッションのグループに同じ分野の方がいなかったのが残念です。
- 統合医療安全と特定行為実践特論をあわせた科目であることはわかるが、スライドや資料の第〇回という表示が前のままなので、どの回を学習しているのかわかりにくかった。
- スライドだけでなくノート形式で印刷ができると学習に役立つと感じました。
- とにかく量が多く、進めるのが大変だった。説明が複雑で、聞いていて理解しがたい時があった
- 一方向の受講となるため、講義内容によっては疑問が残ることもあった。また、興味を抱く講義内容とは言い難い講義もあった。
- 講師の喋り方によっては単語が聞き取りづらい部分があり、何度見直しても不明な部分もあった。また、尺が決まっているため致し方ないのかもしれないが早口過ぎて聞き取り、理解が追いつかない部分が何度もあった。小テストがその回の講義内容だけでは網羅されておらず、その回以降の知識を必要とするものが何点かあり講義内容の確認となっていない部分があった。
- 専用テキストがあるとより学習しやすい

【オンライン大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位：人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
知識の整理や知識を深める事に役立った	21	オンライン授業：受講しやすい環境だった	5
受講科目の個別の内容について勉強できた・理解できた	19	オンライン授業：繰り返し視聴できてよかった	3
具体的な事例・実践的な内容があった	10	オンライン授業：講義が理解しやすかった	2
勉強になった	5	オンライン授業：ディスカッションがよかった	2
深く学ぶ(勉強する)ことができた	3	オンライン授業：楽しかった	1
満足している	3		
基礎的な知識を得られた	3		
学習意欲・知識欲がわいた	3		
新しい知識が身についた	3		
よく理解できた	2		
視点、考え方が変わった	2		
自分の意見・考えを持てるようになった	2		
理解しやすかった	2		
内容が充実していた	2		
適切な内容だった	1		
興味・関心が持てた	1		
授業以外の自分の勉学・個人的な勉強に役だった	1		

【オンライン大学院】「生活健康科学」

改善点

(単位：人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	4	オンライン授業：講義内容と、各テストの内容がずれている	3
内容の詰め込みすぎ	4	講義音声が不明瞭だった	2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	オンライン授業：システム面の改善が必要	1
再編された部分のつながりがよくない	3		
回数の表示を修正してほしい	3		
講師から直接フィードバックがほしい	2		
誤字が多い	2		
構成・内容が良くない	1		
興味・意欲がわかなかつた	1		
教材が活用できなかつた	1		

テキスト・講義ノート		設問解答	
意見	合計	意見	合計
テキスト／講義ノート：印刷物が煩雑すぎる	3	設問解答：課題の内容・量が適切ではない	4
テキスト／講義ノート：印刷したテキスト・講義ノートがほしい	2	設問解答：ディスカッションの人数・発言・回数が少ない、活用しにくい	2
テキスト／講義ノート：離籍後にも復習したい	1	設問解答：指導内容、コメント、対応に不満がある	1
		設問解答：小テスト(試験)が難しい	1
		設問解答：レポートが難しい	1
		設問解答：解説をつけてほしい	1

主な改善点の提案：集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 内容の詰め込みすぎ
- 設問解答：ディスカッションの人数・発言・回数が少ない、活用しにくい

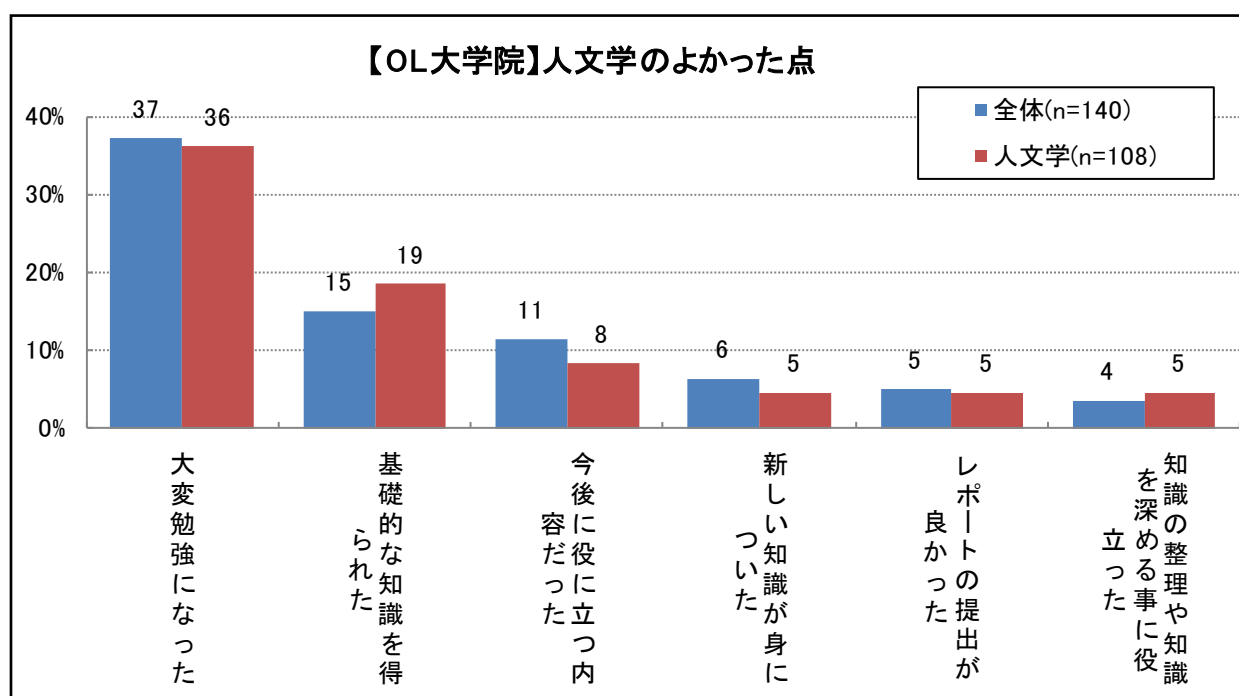
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 再編された部分のつながりがよくない
- 回数の表示を修正してほしい
- テキスト／講義ノート：印刷物が煩雑すぎる
- オンライン授業：講義内容と、各テストの内容がずれている

【オンライン 大学院】「人文学」の傾向

よかった点

「大変勉強になった」が36%と非常に高く、次いで「基礎的な知識を得られた」が19%、他に「今後役に立つ内容だった」(8%)などが続いていた。

図2-127 【オンライン 大学院】よかった点

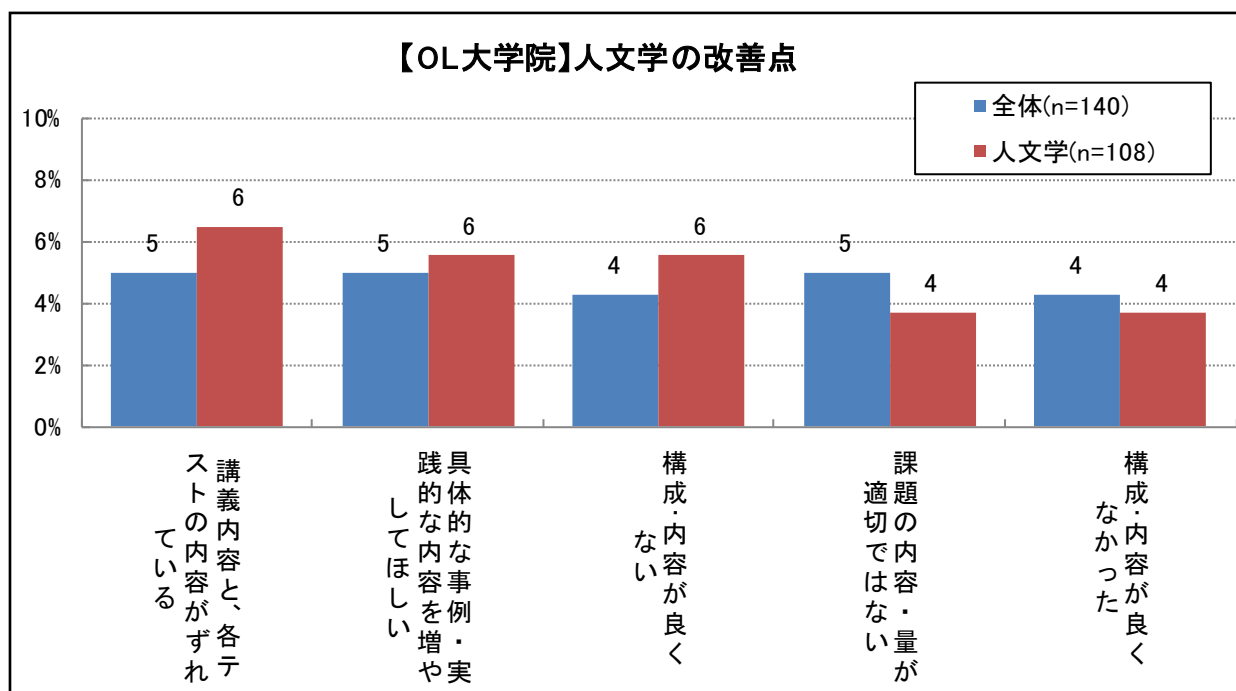


【オンライン 大学院】「人文学」の傾向

改善点

上位に挙げられていたのは、「講義内容と、各テストの内容がずれている」「具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい」「構成・内容が良くない」であった。

図 2-128 【オンライン 大学院】改善すべき点



【オンライン 大学院】「人文学」 抜粋

よかった点

- 論文作成にあたって、必要な知識、スキルがある程度網羅されており、細かな点だが、論文検索の方法なども入っていて良かった。
- 悪意がなくても犯罪となってしまう場合があることが具体的に分かった。研究者としてのルールとマナーが分かった。
- 論文を読むまたは書くにあたって、事前に知っておくと便利なことが、適度にまとめられていた。
- 修士論文の執筆以前に必要な研究や、その業界でのルールなど、授業科目として確立していないが、論文執筆には必須の知識、演習が実施できた。
- 引用する時は、引用した文と同じか、それ以上の自分の説明文が必要だと分かった。
- 修士論文作成に向けた、入り口・入門として、履修して良かった。
- 研究とはどのようなことか、正確に伝えるためにはどのようなスキルが必要かの入口に立つことができた。
- これから修士論文を作成することになると思うが、基本的な作法を学習できて良かったと思う。
- 放送大学院の学生として、修士論文をどのように書き進めれば良いかが分かり、不安が少しなくなった。
- これまで論文には積極的に接してきたと思っていたが、案外と知らないことが多いことに気づき、なるほど、と大変勉強になった。
- 修士論文を書くことが初めての自分にとっては、何がポイントなのか、またどんなルールがあるのかなどが、非常にクリアになった。
- レポートについては、今後必要な論文調査、書き方の訓練となっており、これは意義があった。
- 修士論文に対する不安感が取り除かれ、やる気の出る内容だと感じた。
- 初めて修士論文に取りかかる我が身としては、具体的で分かりやすい授業で、とてもありがたかった。
- 先生のレポート添削は、今後につながる非常に有益なアドバイスだった。

改善点

- 講義内容には直接出てこない内容が小テストで出題されることがあった。
- 最後のレポートが英語論文を2つ読みまとめるというものであったが、今までの授業内容が活かされた課題であるとは思えなかった。
- 講義の回数を長くして、その上でレポート課題があった方が、より理解が深まるように思えた。
- 先行研究レビューの具体例がもう少しあると良かった。
- 記載細則などの細かなルールや実例など、論文の引用についてもっと詳しく知りたかった。
- 担当の教授による講義も入っていると、さらに理解が深まるように思う。
- レポートの分量が多くて少し大変だった。
- 他の講義で既に受講した内容の重複が多く、メリットがあまり見出せない。
- 聞き直したい箇所に戻すとエラーで一番最初に戻るなど、youtube 等と比べ使い勝手が悪かった。時間に制約がある社会人なので、授業の基本となる映像の送り出しが改善されると、非常に効率良く学習が進められると思う。
- 受講後、手元に残る印刷教材がほしい。
- 一人の先生にすべてを受けて持って頂きたかった。
- レポートについては、赤ペン添削がフィードバックされると思っていたが、点数と短評の還元だった。初回であり、ハンドリングが難しかったと思うが、受講生の期待値のコントロールをしておいた方が良いと考える。
- 少し量が私には多すぎた。整理は私がすれば良いことであったが、時々整理したものがあると良いと思う。
- 一般的な「論文の書き方」を学ぶ科目だということが良いでしょうか。大学院でやるべき内容なのかという疑問と、以前似たような科目「研究のためのICT活用（'17）」を受けたので、繰り返しに感じる。
- 文献管理E n d N o t e の扱い方を知りたい。
- 専攻ごとの別講義であれば、重要なポイントについて一層詳しく学べるのではないかとと思う。
- この講義受講は選択となっているが、事務局からは必須的なコメントがあるので、それなら最初から選択ではなく、必須としてくれた方が科目選択に迷わない。あるいはオリエンテーション内で行うようにできると良いと思う。

【オンライン大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	39	オンライン授業:内容が良かった	4
基礎的な知識を得られた	20	オンライン授業:講義が理解しやすかった	4
今後に役に立つ内容だった	9	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	3
新しい知識が身についた	5	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	3
知識の整理や知識を深める事に役立った	5	オンライン授業:受講しやすい環境だった	2
学習意欲・知識欲がわいた	4	オンライン授業:楽しかった	2
具体的な事例・実践的な内容があった	4	オンライン授業:講師の熱意が伝わった	1
理解しやすかった	3		
全体として満足している	1		
教材がこれからも活用できる	1		
学習センターや図書館が良かった	1		

設問解答	
意見	合計
設問解答:レポートの提出が良かった	5
設問解答:指導内容、対応が良かった	4
設問解答:小テストが良かった	2

【オンライン大学院】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
構成・内容が良くない	6	オンライン授業:講義内容と、各テストの内容がずれている	7
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	6	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	4
科目の分類に疑問がある	3	オンライン授業:システム面の改善が必要	3
難しい、高度すぎる、理解できない	2	オンライン授業:理解しにくい	3
興味・意欲がわかなかった	1	オンライン授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2
内容の詰め込みすぎ	1	オンライン授業:講師の解説、指導が良くなかった	1
内容が浅い	1		
現実に活かせる内容にしてほしい	1		
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1		
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		
授業科目案内は役に立たなかった	1		
講師/事務方の対応が良くなかった	1		

設問解答	
意見	合計
設問解答:課題の内容・量が適切ではない	4
設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	2
設問解答:レポートの提出期限を事前に知りたい	1
設問解答:小テスト(試験)が難しい	1
設問解答:小テストの問題数が多かった	1

主な改善点の提案:集約

- オンライン授業:講義内容と、各テストの内容がずれている
- 構成・内容が良くない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい

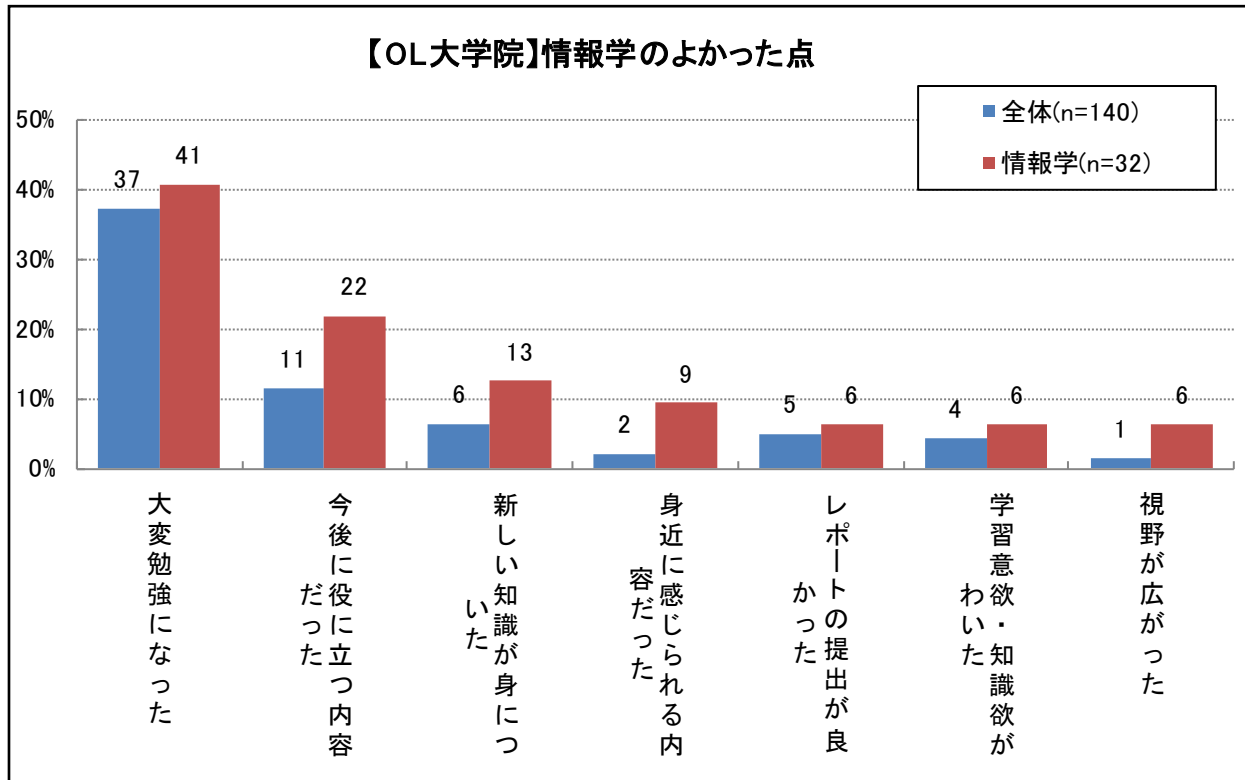
- オンライン授業:構成・内容が良くなかった
- 設問解答:課題の内容・量が適切ではない
- 科目の分類に疑問がある
- オンライン授業:システム面の改善が必要

【オンライン 大学院】「情報学」の傾向

よかった点

最も多かったのは「大変勉強になった」で、41%に達しており、「今後に役立つ内容だった」も22%と高い値で、他に「新しい知識が身についた」が、13%で続いていた。

図 2 - 1 2 9 【オンライン 大学院】よかった点

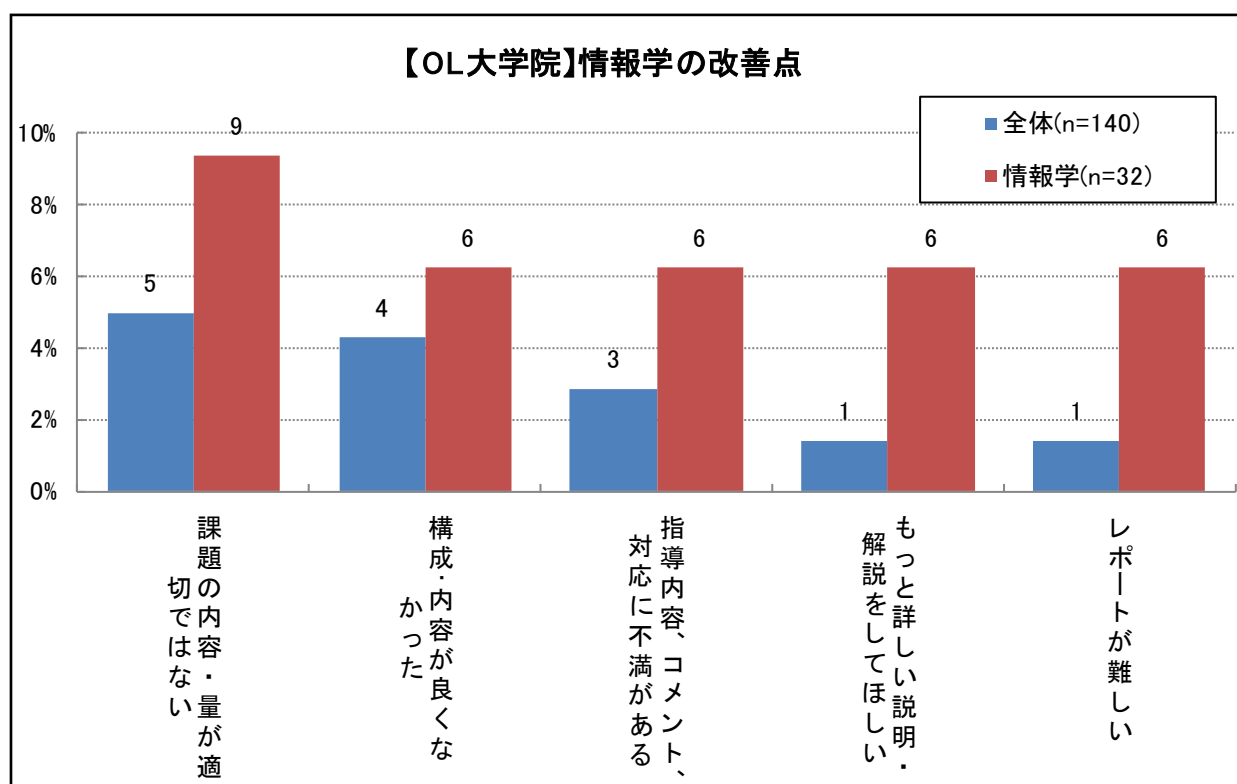


【オンライン 大学院】「情報学」の傾向

改善点

上位に挙げられたのは、「課題の内容・量が適切ではない」で9%、他に「構成・内容が良くなかった」「指導内容、コメント、対応に不満がある」「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」「レポートが難しい」が、それぞれ6%で続いていた。

図 2-130 【オンライン 大学院】改善すべき点



よかった点

- 学部の時よりもレポートが多く、時間がかかるし、考えることも多かったが、身につくこともその分多く、勉強をした感じになった。
- 先行研究の重要性が分かり、レビュー方法の道筋が分かった。
- 学校現場でも積極的に e ラーニングを進める必要が出てきそうである。進める際の方向性を学ぶことができた。
- e ラーニングという、これから増えていくであろう、学びのスタイルの話聞いたことは、仕事に生かせると思う。
- e ラーニングについて、私が知らなかった多くの知識を得ることができた。
- コロナの影響下で、e ラーニングの運営に関わることになり、実際に自分が関わっていることと密接な内容を学べて、非常に有意義な勉強となった。
- 学校でのオンライン教育の整備に、とても参考になった。
- 担当の先生からの定期的にいただけるメールの励ましが、このコロナ騒ぎで勉強を続けられた要因の一つになった。
- コンピュータやネットワークを通じての学習方法に MOOC をはじめ、様々な方法があることを知り、見識が広がった。
- 学生同士のレポートの相互評価がとても良かった。普段、他人のレポートを評価する機会はないので、とても良い勉強になった。
- e ラーニング理論に関する基礎知識を身につけることができた。
- 最新の内容を踏まえたコースになっていて、とても内容が充実していると感じた。
- これまでの授業内容と異なり、講師とともに授業を創造する、受け身から能動的な授業態度に転換させる、画期的な受講生指導がされて、とても良かった。

- 課題の設問・説明が、やや分りづらいところがあった。
- 他の方の提出物を評価する課題があったのには驚いた。それ自体とても勉強になったが、正直なところ、あまり出来の良くないものを評価するのは辛かった。評価内容によって相手の方を傷つけてしまっていないか、また自分のものに辛くなるような評価がされていないか不安である。そのため、評価をするにも受けるにも、安心できるような誘導や基準があると良いと思った。
- Moodle の設定方法等、技術的なところをもう少し知りたかった。
- レポート課題が2つあったが、1つ目のレポートの評価・フィードバックを受け取る前に2つ目のレポートを提出しなければならなかった。関連性のある課題でもあったので、1つ目のレポートの評価・フィードバック後に2つ目のレポートに取り組みたかった。
- 後半にレポートが集中していたので、もう少し散らしてほしい。
- 小テストの回答に対する解説がもう少し詳しい方が良い。
- 各章末の小レポートがすべて文章で記載するようになっており、少し負担を感じた。短答式の小テストだけでも十分ではないかと思った。
- 印刷教材が全くないのがオンライン授業とは言いながら、なじめない感じが。最初の授業なので、ちょっとハードルを感じた。
- 実践では、ICTツールを利用した教材作成もできたら良い。
- eラーニングの理論と実践講座を分割して、より詳細に学習できると良いと思う。
- 個人的には、各回の動画の時間や本数を揃えていただけると、学習計画が立てやすいと感じた。
- テストの回答が、講義内のどこに該当するかなども教えて頂ければ、理解の助けになる。
- 講師の先生により、講義方法にバラつきがあった。標準的な方法に統一して頂けると良い。
- スライドにもっと動きを持たせるのが良いと思う。スライドはほとんどが文字だけで構成されていたが、動きのあるイラストを加えることにより、記憶に残るものになるのではないかと思う。
- 小テストでの設問が、クイズではないが、引っかけ的な問題も見られた。知識が増えていくことにやりがいを感じているので、言葉的な楽しさはあまり必要でないと感じた。
- ディスカッションは、すぐにできれば忘れることもなかったのと思う。

【オンライン大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
大変勉強になった	13	オンライン授業:内容が良かった	1
今後役に立つ内容だった	7	オンライン授業:講師の解説、指導が良かった	1
新しい知識が身についた	4	オンライン授業:講師の人柄の良さを感じた	1
身近に感じられる内容だった	3		
学習意欲・知識欲がわいた	2		
視野が広がった	2		
自分のペースで勉強できた	1		
基礎的な知識を得られた	1		
最新の情報・研究が学べた	1		
		設問解答	
		意見	合計
		設問解答:レポートの提出が良かった	2
		設問解答:小テストが良かった	1

【オンライン大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	オンライン授業:構成・内容が良くなかった	2
難しい、高度すぎる、理解できない	1	オンライン授業:講義の分割の仕方が良くない	1
具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい	1	オンライン授業:理解しにくい	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	オンライン授業:講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1
		オンライン授業:図・図解・グラフ・写真・映像・表が見にくい、見せ方を改善してほしい	1

テキスト・講義ノート	
意見	合計
テキスト/講義ノート:印刷したテキスト・講義ノートがほしい	1

設問解答	
意見	合計
設問解答:課題の内容・量が適切ではない	3
設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある	2
設問解答:レポートが難しい	2
設問解答:小テスト(試験)が難しい	1
設問解答:ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	1

主な改善点の提案:集約

- 設問解答:課題の内容・量が適切ではない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- オンライン授業:構成・内容が良くなかった
- 設問解答:指導内容、コメント、対応に不満がある
- 設問解答:レポートが難しい
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 具体的な事例・実践的な内容を増やしてほしい